

一般演題発表 2月26日(月)

第2会場 (3階・303) ポスター発表

2-1 ポスター①(回復期リハ/生活期リハ/摂食嚥下) 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長: 名古将太郎(千里リハビリテーション病院 STチーフ/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-1-1	東京都	世田谷記念病院	海老澤誠一	言語聴覚士	医療療養病床における摂食嚥下リハビリテーション患者の予後予測指標
2-1-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	今西剛史	医師	カーボカウントスライディングスケール、中鎖脂肪酸、糖質制限を用いた脳卒中糖尿病患者の血糖・栄養管理
2-1-3	兵庫県	本山リハビリテーション病院	小西由希子	言語聴覚士	とろみ溶液を用いたかき氷の作製 ～嚥下障害患者のQOL向上を目指して～
2-1-4	福岡県	白十字病院	林田裕一	言語聴覚士	急性期脳梗塞患者の顎関節脱臼に対して多職種でアプローチした1例
2-1-5	大阪府	わかささ竜間 リハビリテーション病院	黒岩美樹	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟入院時の疾患別ADLと炎症、栄養状態との関係
2-1-6	京都府	洛和会 音羽リハビリテーション病院	村上準子	看護師	摂食障害患者の食事介助 ～患者の食べる力を引き出すスプーン操作を実践して～

2-2 ポスター②(リハ療法士/生活期リハ/設備・施設) 2月26日(月) 15:40 ~ 16:25

座長: 川口静(東京腎泌尿器センター大和病院 リハビリテーション科技士長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-2-1	東京都	大内病院	土屋吉正	看護師	市販消臭剤と剪茶殻の消臭効果による比較の検討
2-2-2	神奈川県	介護老人福祉施設 ケアホーム三浦	高木健伍	柔道整復師	特養開所時からの集団リハビリの取り組みの報告と今後の展望
2-2-3	愛知県	名南ふれあい病院	山田美紀	理学療法士	看取り期を経て自宅退院可能となった一症例
2-2-4	熊本県	水前寺とうや病院	佐田祐介	理学療法士	福祉用具を活用して 入浴業務にノーリフティングを導入した効果について
2-2-5	愛媛県	北条病院	増野雄一	理学療法士	排泄に対するアプローチ強化の取り組み

2-3 ポスター③(廃用症候群/リハ看護・介護/多職種/脳血管疾患) 2月26日(月) 16:35 ~ 17:20

座長: 柳本麻里(徳島平成病院 リハビリテーション科 係長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-3-1	岩手県	盛岡市立病院	滝村薫	理学療法士	廃用リハビリ対象者の退院時フレイル評価 -2種類のフレイル評価の一致度と理学療法評価との関係-
2-3-2	神奈川県	新戸塚病院	熊澤征哉	理学療法士	家族での移乗動作獲得に向けて ～重力に抗した座位へ～
2-3-3	香川県	橋本病院	田中彩貴	看護師	脳卒中後の抑うつ症状(PSD)とADLとの関連性について
2-3-4	石川県	みずほ病院	中森真由	理学療法士	当院入院患者におけるADL評価 -現状と今後の課題-
2-3-5	兵庫県	はくほう会セントラル病院	安岐俊介	作業療法士	当院における医療療養病棟での離床の取り組みについて

第2会場（3階・303）ポスター発表

2-4 ポスター④(終末期リハ/がん/多職種/生活期リハ) 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：前田浩太郎(印西総合病院 リハビリテーション科 係長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-4-1	京都府	洛和会 音羽リハビリテーション病院	古久保侑実子	看護師	障害者病棟でのパーキンソンダンスの効果 ～看護師・作業療法士・音楽療法士とのハーモニー～
2-4-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	小池美咲	作業療法士	人工呼吸器を装着した筋萎縮性側索硬化症患者に 対して、退院計画表を用いて自宅退院支援を行った事例
2-4-3	岡山県	倉敷リバーサイド病院	安部真沙美	理学療法士	末期がん患者における家族も含めたリハビリテーションの 効果 ～希望の実現がQOL向上に繋がった一症例～
2-4-4	高知県	くぼかわ病院	橋田健太郎	理学療法士	当院におけるがん患者リハビリテーションの現状と課題
2-4-5	神奈川県	新戸塚病院	矢島達郎	理学療法士	進行性核上性麻痺による易転倒性を呈し、訪問リハビリの 運動指導により転倒なく外出自立に至った一症例

第3会場（3階・304）PC発表

3-1 回復期リハ① 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：佐藤延(丸山病院 リハビリテーション部長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-1-1	兵庫県	平成病院	山本ひとみ	看護師	回復期リハビリテーション病棟における褥瘡発生予防への継続
3-1-2	徳島県	鳴門山上病院	小川聡	理学療法士	当回復期リハ病棟における排尿機能改善に向けた取り組み ～残尿量測定による時間誘導で排尿自立した1症例～
3-1-3	島根県	鹿島病院	石橋莉加子	作業療法士	眼球運動リハビリテーションとその効果 ～作業療法士ができること～
3-1-4	千葉県	富家千葉病院	横田侑	理学療法士	脳卒中患者に対し、体幹部への姿勢アプローチが 後の歩行能力向上に功奏した症例
3-1-5	千葉県	印西総合病院	隈崎光哉	理学療法士	離床活動を病棟に定着させるための初期導入
3-1-6	香川県	橋本病院	新見綾香	理学療法士	退院後脳血管疾患患者における転倒予防自己効力感尺度と 転倒回数、環境、歩行補助具との関連

3-2 回復期リハ② 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：山本寿枝子(富家病院 リハビリテーション室 室長代行/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-2-1	広島県	井野口病院	楠橋一弘	作業療法士	意味のある作業の支援により主体的な生活を取り戻した事例
3-2-2	東京都	世田谷記念病院	大久保雅人	理学療法士	回復期病棟入院患者における骨格筋指数と歩行速度の関係 ～歩行補助具による違い～
3-2-3	徳島県	博愛記念病院	高田幸治	理学療法士	回復期病棟でのリハビリ夜勤の業務形態変更に伴う FIM利得や平均在院日数への影響
3-2-4	三重県	花の丘病院	加藤綾	作業療法士	その人らしさを尊重した介入と家族指導の工夫により 在宅復帰後役割の再獲得に至った症例
3-2-5	兵庫県	平成病院	中山幸彦	作業療法士	回復期リハビリテーション病棟における 入院早期からの作業を基盤とした実践報告
3-2-6	青森県	青森慈恵会病院	鳴海一恵	准看護師	高齢患者への回復期病棟における多職種連携 ～意思尊重とその人らしさを考える～

第3会場（3階・304）PC発表

3-3 回復期リハ③ 2月26日(月) 16:40～17:25

座長：湯澤司(富家病院 リハビリテーション室 副主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-3-1	兵庫県	東浦平成病院	宗和弘樹	理学療法士	離床率と集団活動率がFIM利得に及ぼす影響の検討
3-3-2	大阪府	泉佐野優人会病院	泉谷佑美	作業療法士	回復期リハビリテーション病棟における リハビリテーションに対する患者満足度調査の結果
3-3-3	広島県	島の病院おおたに	岡本真ノ助	理学療法士	当院回復期病棟における 転倒・転落事例の現状把握と問題点抽出
3-3-4	群馬県	内田病院	篠崎有陸	理学療法士	認知症と診断された高齢者の自宅退院・FIMの改善に関する 検討-当院回復期リハ病棟データベースの分析-
3-3-5	東京都	世田谷記念病院	辻本まりえ	理学療法士	栄養付加食と歩行速度の関係性について

3-4 回復期リハ④ 2月26日(月) 17:26～18:11

座長：木村亜沙子(芳珠記念病院 リハビリテーション室/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-4-1	北海道	北樹会病院	鶴田若菜	理学療法士	当院回復期リハビリテーション病棟における再入院患者の傾向
3-4-2	愛知県	小林記念病院	竹内秀明	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟退院直後の 転倒に関係する要因の検証
3-4-3	大阪府	わかさ竜間 リハビリテーション病院	玉村悠介	理学療法士	脳卒中片麻痺患者の歩行獲得にむけた栄養管理の重要性
3-4-4	東京都	多摩川病院	徳嶋慎太郎	理学療法士	当院における回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価の 特徴 80歳を基準に群を分けた検証
3-4-5	東京都	世田谷記念病院	新藤雅和	理学療法士	院内ホームワーク実施による効果検証：第3報 -Functional Independence Measure利得の天井効果に着目した検証-

第4会場（3階・311+312）PC発表

4-1 チームアプローチ① 2月26日(月) 14:40～15:34

座長：中村正史(小林記念病院 一般病棟リハビリテーション科 科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-1-1	東京都	緑成会病院	橋本夏生	看護師	気切患者の在宅復帰に向けた多職種アプローチの検討
4-1-2	神奈川県	ヴィラ桜ヶ丘	高橋功	理学療法士	生活リハビリの現状と課題について
4-1-3	兵庫県	西宮回生病院	下川愛理	理学療法士	当院における転倒転落の要因と 離床センサーの選定評価の検証
4-1-4	奈良県	奈良東病院	松野義之	言語聴覚士	脊髄性筋萎縮症に対するチームアプローチ
4-1-5	大阪府	岸和田平成病院	釘宮智子	作業療法士	離床チーム結成によるレクリエーション参加者の変化
4-1-6	兵庫県	土井病院	酒勺麻衣子	理学療法士	患者の離床時間と職員の意識への取り組み ～療養病棟での有意義な離床を促すための活動～

第4会場（3階・311+312）PC発表

4-2 チームアプローチ③/排泄・排尿 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：平田洋一(西宮回生病院 事務長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-2-1	山口県	山口平成病院	津江尚幸	理学療法士	高齢者の膀胱直腸リハビリテーションの有効性と疾患別における比較検証について
4-2-2	徳島県	博愛記念病院	吉野洸生	理学療法士	壮年期の腹圧性尿失禁と生活スタイルの関係性について
4-2-3	大阪府	阪和第一泉北病院	松井裕紀夫	理学療法士	やってみよう！ポジショニングで変わるケア ～オムツ交換に着目して～
4-2-4	鹿児島県	国分中央病院	今別府剛	理学療法士	多職種による協業で膀胱留置カテーテル抜去に至った一例
4-2-5	徳島県	徳島平成病院	栗尾昌志	介護福祉士	看護・介護の連携を目指した業務改善 ～排泄ケアの見直し～
4-2-6	愛媛県	HITO病院	西哲史	作業療法士	当院地域包括ケア病棟の 集団リハビリがトイレ動作に及ぼす影響

4-3 終末期リハ①/医療安全管理 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：有馬陽一(新京浜病院 院長・インфекションコントロールドクター/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-3-1	北海道	定山溪病院	谷領	言語聴覚士	終末期における重度摂食・嚥下障害者へのSTの関わり
4-3-2	神奈川県	横浜病院	藤巻奈々恵	作業療法士	リビングウィルを希望した患者とその家族の受容と気持ちの変遷 ～終末期リハビリテーションの介入と視点～
4-3-3	東京都	多摩川病院	三浦亜純	作業療法士	ヒヤリハット報告書導入は ヒヤリハット報告件数の増加と事故発生予防につながるか
4-3-4	東京都	品川リハビリテーション病院	江原浩美	看護師	胃瘻造設患者のトラブルケア
4-3-5	徳島県	江藤病院	犬伏康徳	理学療法士	当院における院内転倒について現状の把握と傾向の分析

4-4 脳血管疾患・脊髄損傷① 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：小菅康史(鶴巻温泉病院 診療部/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-4-1	群馬県	公立七日市病院	根岸尚美	作業療法士	余暇活動に対する目標設定に難渋した症例
4-4-2	香川県	橋本病院	寒川拓実	作業療法士	若年脳血管障害患者における職場復帰に関する因子の検討
4-4-3	東京都	緑成会病院	川島早紀	理学療法士	歩行自立後の脳卒中片麻痺患者に対する 手段的歩行トレーニングの効果について
4-4-4	大阪府	千里リハビリテーション病院	原田紗也佳	理学療法士	趣味活動再開に向け 回復期リハビリテーションを展開した一症例
4-4-5	神奈川県	平成横浜病院	原文章	理学療法士	FACTと体幹回旋動作に着目した介入 ～脳梗塞片麻痺患者の歩行能力の改善に向けて～

第5会場(3階・313+314) PC発表

5-1 チームアプローチ② 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：的野美和子(光風園病院 リハビリテーション部 科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-1-1	福岡県	健和会大手町 リハビリテーション病院	大見昌吾	理学療法士	退院支援グループより新たな退院支援制度を導入して
5-1-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	光山智寛	介護福祉士	病室の不快に感じる臭気について ～職員を対象とした意識調査～
5-1-3	埼玉県	秩父生協病院	高荷進夫	言語聴覚士	“瞬き”によるコミュニケーション手段を確立し病棟生活範囲の 拡大へ繋げた家族病棟の取り組みと関わり後の変化
5-1-4	神奈川県	平成横浜病院	門家弘恵	看護師	回復期リハビリテーション病棟の多職種との連携 ～看護師によるアプローチの重要性～
5-1-5	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ都筑	秋原健利	作業療法士	特養における離床に向けたチームアプローチ
5-1-6	東京都	多摩川病院	大森昭彦	看護師	回復期病棟から、急性期、療養病院(精神科含む)へ 転院した原因について考察

5-2 社会復帰・自立支援 2月26日(月) 15:35 ~ 16:20

座長：宮本美恵子(橋本病院 副院長/看護師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-2-1	和歌山県	宇都宮病院	平沼永植	理学療法士	「活動」から「参加」へつなげるために
5-2-2	神奈川県	平成横浜病院	山内ななみ	作業療法士	音を用いた排便へのアプローチ ～副交感神経に着目して～
5-2-3	熊本県	谷田病院	松江公貴	理学療法士	介護主体デイサービスの自立支援に向けた取り組み
5-2-4	神奈川県	鶴巻温泉病院	高橋哲也	レクリエーション トレーナー	退院がゴールではない！ 脳梗塞発症から職場復帰を経て感じている 事
5-2-5	神奈川県	鶴巻温泉病院	渡邊慶子	MSW	40代脳卒中患者の復職に向けたソーシャワークを振り返って

5-3 チームアプローチ④ 2月26日(月) 16:30 ~ 17:24

座長：野本達哉(永生病院 医療技術部長兼TQMセンター長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-3-1	大阪府	弥刀中央病院	飼鳥裕美	看護師	栄養状態改善に向けた取り組み
5-3-2	兵庫県	大原病院	西本美香	看護師	経口摂取の自立を目指したチームでの取り組み
5-3-3	静岡県	熱川温泉病院	奈須琴子	言語聴覚士	維持期の摂食嚥下障害患者の安全な経口摂取を目指して ～多職種との連携の重要性～
5-3-4	神奈川県	新戸塚病院	大田真央	言語聴覚士	誤嚥性肺炎により気管切開となった一症例 ～カニューレ抜去までの道のり～
5-3-5	埼玉県	霞ヶ関南病院	神保美穂	管理栄養士	患者さんと共に食事を楽しむ 「コミュニケーションランチ」の取り組み
5-3-6	北海道	札幌西円山病院	櫻井貴之	言語聴覚士	東日本大震災被災地で行われている継続的な支援活動

第5会場(3階・313+314) PC発表

5-4 脳血管疾患・脊髄損傷②/回復期リハ⑤ 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：久保田剛史(埼玉みさと総合リハビリテーション病院 リハビリテーション科技士長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-4-1	東京都	世田谷記念病院	蔵方祐	作業療法士	回復期脳血管障害患者における 上衣更衣動作能力の獲得に係る因子
5-4-2	広島県	井野口病院	小田恵美香	作業療法士	外泊により情緒・行動面の改善を認めた脳挫傷症例
5-4-3	福井県	池端病院	大塚浩一	理学療法士	高次脳機能障害を合併した脳卒中症例の車椅子駆動に 対する介入 ～誤りのない学習法の活用が奏功した一例～
5-4-4	大阪府	千里リハビリテーション病院	佐々木彩佳	理学療法士	歩行獲得に難渋した脳卒中患者に対し 課題指向的に理学療法を展開した経験
5-4-5	宮城県	総合南東北病院	安孫子洋	理学療法士	末梢神経磁気刺激装置Pathleaderの脳卒中慢性期における、 運動障害、サルコペニアに対する効果

第6会場(3階・315) PC発表

6-1 廃用症候群 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：矢野諭(多摩川病院 理事長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-1-1	宮城県	石巻健育会病院	遠藤巨樹	作業療法士	寝たきり状態から短期間で自宅退院まで至った一症例 —各種診療ガイドラインを活用して—
6-1-2	大阪府	泉佐野優人会病院	茶木知子	理学療法士	離床コーディネーターの取り組みと離床による効果の検証
6-1-3	兵庫県	平成病院	平岡拓也	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟における廃用症候群患者の 栄養障害に関する背景要因の検討
6-1-4	熊本県	西日本病院	桑原彰吾	理学療法士	腹部外科手術が腹横筋と骨盤底筋収縮能に及ぼす影響
6-1-5	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	丸山元大	理学療法士	手指拘縮による褥瘡予防への取り組み ～MP関節伸展角度に着目して～
6-1-6	石川県	芳珠記念病院	石田真希	作業療法士	副腎腫瘍術後長期入院患者の自宅退院へ向けて ～できたことの見える化による本人・妻の気持ちと活動の変化～

6-2 高次脳機能障害 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：上間清司(イムス板橋リハビリテーション病院 リハビリテーション科技士長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-2-1	兵庫県	西宮回生病院	松村真麻	言語聴覚士	脳出血を呈した30歳代症例 —職場復帰までの支援について—
6-2-2	徳島県	博愛記念病院	福田遼太郎	理学療法士	注意力の低下がバランス機能や骨格筋量に与える影響 及び転倒回数との相関について
6-2-3	東京都	平成扇病院	黒河内聡	理学療法士	右半側空間無視と視覚性運動失調を呈した1症例に対する 症候学的な考察
6-2-4	香川県	橋本病院	西本ありさ	言語聴覚士	自宅への早期復帰を果たした重度失語、高次脳機能障害の 一症例 —STの果たした役割の検討—
6-2-5	大阪府	わかさ竜間 リハビリテーション病院	佐藤貴子	言語聴覚士	発症時、意識障害を認めた失語症患者の長期的経過
6-2-6	神奈川県	ふじの温泉病院	菅原光晴	作業療法士	複数物品の系列動作の障害を呈した前頭葉損傷例への アプローチの有用性

第6会場(3階・315) PC発表

6-3 小児疾患/神経・筋疾患 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：石橋哲弥(緑成会整育園 リハビリテーション部 係長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-3-1	兵庫県	西宮回生病院	今川瑞貴	作業療法士	地域に求められる小児リハビリテーション -立ち上げから現状の報告-
6-3-2	長野県	鹿教湯三才山リハビリテーション センター三才山病院	倉澤亜子	作業療法士	「手紙を送りたい」という筋萎縮性側索硬化症(ALS)の 高齢女性に対する作業療法の関わり
6-3-3	神奈川県	鶴巻温泉病院	及川明穂	作業療法士	トーキングエイドfor iPadを使用し長文で表出が可能となった 保続を認める進行性核上性麻痺患者に関する報告
6-3-4	鳥取県	養和病院	門脇達也	作業療法士	鳥取県西部における 特別支援学校センター的事業の取り組みについて
6-3-5	北海道	札幌西円山病院	石川朝子	作業療法士	パーキンソン病患者の認知症重症度とADL自立度の関係性

6-4 療法②(音楽、園芸、アニマル他)/鍼灸 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：石田真希(芳珠記念病院 副主任/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-4-1	東京都	介護老人福祉施設 ヴィラ町田	木下裕基	作業療法士	外食レクの取り組み ~施設入居者様の食べたいものとは~
6-4-2	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ南本宿	長田知子	理学療法士	新たなコミュニケーションツールによる 行動変化・心理変化を検証する
6-4-3	京都府	洛和会 ヘルスケアシステム	柴田恵美	音楽療法士	長期入院による不定愁訴が続くA氏への音楽療法の介入
6-4-4	奈良県	奈良東病院	尾上昭代	作業療法士	長期入院生活における楽しみの獲得 ~ポッチャの参加を通して~
6-4-5	兵庫県	東浦平成病院	吉村翔太	鍼灸師	てい鍼による身体後面抗重力筋群への影響

第7会場(4階・411+412) PC発表

7-1 摂食嚥下・栄養・口腔ケア① 2月26日(月) 14:40 ~ 15:34

座長：櫻井貴之(札幌西円山病院 リハビリテーション部言語療法科 科長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-1-1	大阪府	岸和田平成病院	土肥丈一郎	言語聴覚士	超音波を使用した嚥下機能評価
7-1-2	大阪府	堺温心会病院	姫田祐樹	言語聴覚士	酸味の濃度が舌骨上筋群活動開始に与える影響
7-1-3	神奈川県	鶴巻温泉病院	監物千春	管理栄養士	回復期リハビリテーション病棟におけるBCAAの有効性について
7-1-4	大阪府	平成記念病院	阪上健太郎	看護師	気管切開・胃瘻造設患者に対する唾液持続吸引を導入して
7-1-5	福岡県	広川病院	服部綾子	作業療法士	運動負荷量を栄養状態にあわせリハビリを実施し 改善に至った一症例について
7-1-6	神奈川県	鶴巻温泉病院	加藤久美子	看護師	回復期リハビリテーション病棟における摂食嚥下チームの 回診対象者の特徴と今後の課題

第7会場(4階・411+412) PC発表

7-2 摂食嚥下・栄養・口腔ケア② 2月26日(月) 15:35 ~ 16:29

座長：阪口英夫(陵北病院 歯科診療部長/歯科医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-2-1	富山県	流杉病院	中川瑞人	言語聴覚士	不顕性誤嚥の回避に咳テストを活用し、経口摂取を獲得できた一症例
7-2-2	徳島県	江藤病院	斎藤由衣	理学療法士	高齢者の座位保持時間と食事が咳嗽力に与える影響の検討
7-2-3	徳島県	徳島平成病院	濱弥生	言語聴覚士	OHAT日本語版を用いた口腔環境改善の取り組み
7-2-4	徳島県	博愛記念病院	伊澤高輝	言語聴覚士	嚥下体操における口腔内湿潤効果
7-2-5	神奈川県	鶴巻温泉病院	田中葵	言語聴覚士	訪問言語聴覚療法を実施し、摂食可能な食形態が向上した重度摂食嚥下障害を呈した脳卒中患者
7-2-6	石川県	芳珠記念病院	西出直人	歯科医師	当院NSTが介入した摂食・嚥下障害症例における、栄養状態、ADLに関する検討

7-3 療法①(音楽・園芸・アニマル他)/設備・施設① 2月26日(月) 16:40 ~ 17:25

座長：大久保秀行(横浜病院 医療技術部 部長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-3-1	北海道	聖ヶ丘病院	佐々昂典	作業療法士	慢性期病院における集団調理訓練がもたらす効果
7-3-2	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ横浜	高野光星	理学療法士	園芸療法を通して ～活気向上の得られたケース～
7-3-3	東京都	大久野病院	林文月	看護師	チームアプローチによるリハビリ意欲の向上離床効果が みられた症例 ～セラピードッグとのふれあいを通じて～
7-3-4	京都府	洛和会 ヘルスケアシステム	矢野ひとみ	音楽療法士	回復期リハビリテーション病棟における他職種と連携した 音楽療法の一例
7-3-5	愛知県	福祉村病院	村上佳範	作業療法士	認知症リハビリプロジェクト 農作の取り組み

7-4 呼吸器・循環器疾患・がん/終末期リハ② 2月26日(月) 17:26 ~ 18:11

座長：浦信行(札幌西円山病院 院長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-4-1	富山県	光ヶ丘病院	山口拓也	理学療法士	COPD患者への鼻カニューレと酸素マスク(空マスク)併用が 労作時のSpO ₂ に効果を及ぼした一症例
7-4-2	北海道	札幌ひばりが丘病院	猪狩祥吾	理学療法士	地域包括ケア病棟に入院したがん患者の傾向と考察 ～リハビリテーションの視点から～
7-4-3	山口県	光風園病院	杉山寛行	理学療法士	当院の呼吸器疾患患者に対する リハビリテーションの現状と課題
7-4-4	静岡県	東名裾野病院	三枝洋美	作業療法士	離床目的のウィニングにより活動意欲が向上したことで、 認知機能とADLの向上に繋がった1例
7-4-5	東京都	緑成会病院	齋藤翔	理学療法士	地域包括ケア病床にて在宅復帰が困難だった一症例

一般演題発表 2月27日(火)

第2会場 (3階・303) ポスター発表

2-5 ポスター⑤(認知症・精神/生活期リハ) 2月27日(火) 9:00 ~ 9:54

座長: 諸持修(埼玉セントラル病院 リハビリテーション科技士長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-5-1	東京都	大内病院	古御門幸奈	作業療法士	「こころの天気」描画法活用作業療法集団プログラム実施により生活を肯定的に捉えられるようになった3事例
2-5-2	東京都	大内病院	伊藤千晶	作業療法士	化粧プログラムによる認知症クライアントの化粧意識と行動変容 ~SSPCを取り入れた介入~
2-5-3	北海道	札幌明日佳病院	竹谷佳起	理学療法士	重度認知症患者様の立位保持能力向上について
2-5-4	北海道	札幌明日佳病院	大口拓也	理学療法士	慢性期の重度片麻痺・認知症者に対する端座位保持に向けた介入 ~筋張力を利用した応用行動分析的介入~
2-5-5	神奈川県	鶴巻温泉病院	榎本真紀	看護師	当院における認知症ケア加算1の取得に向けたシステム構築と運用の取り組み
2-5-6	茨城県	志村大宮病院	長須仁美	看護師	認知症患者への関わり -帰宅願望が強く、夜間徘徊のある患者に対しての取り組み-

2-6 ポスター⑥(生活期リハ/多職種/在宅) 2月27日(火) 10:00 ~ 10:54

座長: 峯真里(水前寺とうや病院 リハビリテーション科 科長代理/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-6-1	福岡県	戸畑けんわ病院	橋本剛士	理学療法士	病棟担当制を開始して ~地域包括ケア病棟開設前後を比較して~
2-6-2	福岡県	戸畑けんわ病院	野村誠教	作業療法士	戸畑リハビリテーション連絡協議会の取組み
2-6-3	福岡県	戸畑けんわ病院	奥村成実	理学療法士	地域包括ケア病棟での誤嚥性肺炎予防の取組み
2-6-4	新潟県	総合リハビリテーションセンター・みどり病院	柳原岳	言語聴覚士	摂食困難となった在宅患者への食支援 ~地域包括ケア病棟から再び在宅生活へ~
2-6-5	埼玉県	一般社団法人 全国デイ・ケア協会	染谷和久	理学療法士	通所リハビリテーションにおける中重度者の活動と参加への かかわり
2-6-6	北海道	イムス札幌内科 リハビリテーション病院	明比健太	理学療法士	短時間通所リハビリテーションと他部署の連携により 趣味活動再開に至った事例

2-7 ポスター⑦(生活期リハ/骨関節/在宅/リハ療法士) 2月27日(火) 11:05 ~ 11:50

座長: 谷本源太(多摩川病院 主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-7-1	群馬県	公立七日市病院	山浦卓哉	作業療法士	生活行為向上マネジメントを用いた症例検討会での ワークショップ導入における影響について
2-7-2	静岡県	みしゆくケアセンターわか葉	鈴木卓	理学療法士	当施設における大腿骨近位部骨折の保存療法の予後と関連因子の検討
2-7-3	徳島県	田岡病院	滝本千夏	理学療法士	脊椎椎体骨折の圧潰の程度と離床開始日の関連について
2-7-4	福岡県	健和会大手町 リハビリテーション病院	原亮太郎	理学療法士	当院慢性期病棟における自宅退院及び施設退院患者のFIMの 実態調査
2-7-5	北海道	イムス札幌内科 リハビリテーション病院	大門直人	理学療法士	外傷性骨折後に重度機能障害を呈し寝たきり宣告を受けた 事例の歩行再獲得まで

第2会場（3階・303）ポスター発表

2-8 ポスター⑧(義肢・装具・ロボテック機器/生活期リハ) 2月27日(火) 13:10 ~ 14:04

座長：吉本陽二(奈良東病院 リハビリテーション科 統括科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
2-8-1	東京都	花はた リハビリテーション病院	中村学	理学療法士	装具外来と通所リハビリテーションの相乗効果 -生活期での装具処方によりトイレ立位保持が改善した一症例-
2-8-2	石川県	みずほ病院	用平裕汰	理学療法士	当院入院患者の病棟歩行自立基準作成のための要因の検討
2-8-3	石川県	千木病院	中川健太	理学療法士	上肢懸垂用肩関節装具オモニューレクサが脳卒中片麻痺患者の歩行能力と立位バランス能力に与える効果
2-8-4	鹿児島県	加治木温泉病院	志水章彌	義肢装具士	通所リハビリ・訪問リハビリ利用者に対する装具定期メンテナンスの実施
2-8-5	福岡県	北九州安部山公園病院	宮崎博史	理学療法士	当院回復期病棟退院時の移動能力と現在の歩行・短下肢装具使用状況の比較
2-8-6	福岡県	若杉病院	宮崎美穂	理学療法士	右第I趾切断術後により歩行障害を呈した症例への装具療法

第3会場（3階・304）PC発表

3-5 回復期リハ⑥/認知症・精神① 2月27日(火) 9:00 ~ 9:54

座長：吉尾雅春(千里リハビリテーション病院 副院長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-5-1	茨城県	宮本病院	高久律子	作業療法士	「外に出て花が見たい」 ～本人の思いに寄り添い、BPSDの軽減を目指して～
3-5-2	兵庫県	南淡路病院	久保幸子	作業療法士	BPSDの軽減を目指して ～タクティールケアの要素を取り入れて～
3-5-3	兵庫県	園田病院	山崎真輔	作業療法士	当院における認知機能維持・向上に向けた新たな試み
3-5-4	岡山県	さとう記念病院	平原華倫	作業療法士	当院回復期リハビリテーション病棟の特徴と課題
3-5-5	石川県	芳珠記念病院	木村亜沙子	理学療法士	Basic Movement Scaleによる 基本動作能力評価の有効性の検証
3-5-6	愛知県	小林記念病院	高村悠乃	作業療法士	回復期リハビリテーション病棟在院中の自宅外出に 療法士同行と退院後の介護負担感について

3-6 回復期リハ⑦ 2月27日(火) 9:55 ~ 10:49

座長：池村健(博愛記念病院 リハビリテーション部長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-6-1	神奈川県	鶴巻温泉病院	小菅康史	医師	重症くも膜下出血患者における 回復期リハビリテーションの成績
3-6-2	大阪府	豊中平成病院	森祥子	作業療法士	当院回復期リハビリテーション病棟における入退院時の motor FIM点数の比較によるリハの再考
3-6-3	大阪府	浜寺中央病院	宇野智揮	理学療法士	シーティングカンファレンスによる離床時間・FIMの変化について
3-6-4	兵庫県	平成リハビリテーション 専門学校	新島剛	理学療法士	急性期疾患後リハビリテーション患者における歩行速度と 握力・下腿周囲長との関連
3-6-5	群馬県	内田病院	小此木直人	理学療法士	当院回復期リハビリ病棟における 認知症高齢者の転倒に関わる要因の検討
3-6-6	群馬県	角田病院	荒木海人	理学療法士	実績指数予測カンファレンスシート運用効果の検討 ～ADLに着目したリハビリテーションを目指して～

第3会場（3階・304）PC発表

3-7 回復期リハ⑧ 2月27日(火) 11:00～11:54

座長：篠崎有陸(内田病院 回復期リハビリテーション病棟 病棟サブマネジャー/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-7-1	大阪府	泉佐野優人会病院	小松健矢	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟退院後の移動動作能力と離床時間についての検証
3-7-2	東京都	世田谷記念病院	長田政貢	理学療法士	当院入院患者における患者の虚弱度とFIMの向上についての検討
3-7-3	香川県	橋本病院	川崎健太	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム評価の独居者に対する妥当性の検証
3-7-4	東京都	緑成会病院	飯島直孝	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟におけるアウトカム導入の効果検証 ～高次脳機能障害患者の認知項目への影響～
3-7-5	千葉県	印西総合病院	佐藤翔	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟のアウトカム評価に対するFBSの有用性
3-7-6	京都府	京都リハビリテーション病院	近藤克征	理学療法士	当院の回復期リハビリテーション病棟アウトカム評価—傾向と分析—

3-8 認知症・精神②/チームアプローチ⑤ 2月27日(火) 13:10～14:04

座長：中村大輔(横浜病院 地域包括ケアシステム推進室 室長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-8-1	福岡県	健和会京町病院	今村恵美	作業療法士	「まだまだできる」を感じる場・時間づくり～季節の壁画製作とグループ活動～
3-8-2	神奈川県	平成横浜病院	山勢健太郎	作業療法士	当院物忘れ外来における取り組み～評価結果の集積から今後の展望を考える～
3-8-3	徳島県	徳島平成病院	柳本麻里	作業療法士	入院中の軽度認知障害を有する患者に対する集団リハビリテーションの効果検証
3-8-4	大阪府	豊中平成病院	山中敏行	理学療法士	当院デイケアにおける自主的な認知課題の検証
3-8-5	東京都	竹川病院	穴倉浩司	理学療法士	重症くも膜下出血患者がチーム医療3.5か月で寝たきり状態から機能回復を認めた症例
3-8-6	愛媛県	松山リハビリテーション病院	星川侑輝	作業療法士	地域包括ケア病棟における他職種連携の重要性～高次脳機能障害者の就労支援を通して～

3-9 回復期リハ⑨/認知症・精神④ 2月27日(火) 14:05～14:50

座長：上田佳史(芳珠記念病院 リハビリテーション科 部長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
3-9-1	東京都	大内病院	松本武士	作業療法士	慢性期統合失調症患者に対するメタ認知トレーニングの実施報告
3-9-2	大阪府	浜寺中央病院	折見亜美	作業療法士	非言語的コミュニケーションアプローチの効果～コミュニケーション能力の向上を目指して～
3-9-3	京都府	洛和会音羽リハビリテーション病院	上杉百合江	看護師	チームケアの推進～IPWで実践する認知症へのアプローチ～
3-9-4	神奈川県	鶴巻温泉病院	大江健人	理学療法士	経皮的電気刺激と運動療法の併用が疼痛の軽減と連続歩行距離の改善に有効であった腰椎圧迫骨折患者
3-9-5	東京都	多摩川病院	椿山弘之	理学療法士	回復期リハビリテーション病棟入院患者の栄養状態と機能的自立度評価、在院日数、転帰先の検討

第4会場（3階・311+312）PC発表

4-5 生活期(維持期)リハ① 2月27日(火) 9:00 ~ 9:54

座長：嶋崎眞治(永生病院 リハビリテーション部 科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-5-1	兵庫県	大原病院	盛岡敬之	理学療法士	病棟職員の離床意識の変化が療養病棟入院患者の離床時間に与える影響
4-5-2	兵庫県	南淡路病院	定桂大	作業療法士	当院医療療養病棟における転倒転落の傾向～多剤服用に着目して～
4-5-3	北海道	定山溪病院	古村恭奨	理学療法士	当院における肺炎発症に関わる因子の検討
4-5-4	山梨県	恵信甲府病院	武井咲	理学療法士	骨盤前後傾と仙骨部圧力の関係
4-5-5	鹿児島県	出水郡医師会立第二病院	飛松幸介	作業療法士	家族の要望を重視したリハの実施
4-5-6	徳島県	博愛記念病院	高田昌寛	理学療法士	生活期脳卒中患者に対するHonda歩行アシスト®の効果

4-6 生活期(維持期)リハ② 2月27日(火) 9:55 ~ 10:49

座長：安齋登紀子(総泉病院 リハビリテーション部主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-6-1	大阪府	平成記念病院	小田原良太	理学療法士	積層マットレスによるポジショニングの効果の検証(第二報)
4-6-2	東京都	永生病院	久尾友員	作業療法士	全身過緊張な重度認知症高齢者に対する在宅復帰へ向けたアプローチ
4-6-3	東京都	介護サービススマイル永生	望月佑弥	理学療法士	通所リハビリテーションにおける生活空間と日常生活活動の6か月間の変化について
4-6-4	福岡県	健和会京町病院	下西菜穂子	理学療法士	当院での腹臥位療法の取り組み
4-6-5	北海道	定山溪病院	伊勢健佑	作業療法士	特殊疾患病棟における積極的な離床支援への取り組み
4-6-6	大阪府	わかさ竜間リハビリテーション病院	藤澤加奈子	言語聴覚士	4年前発症の若年外傷性脳損傷患者への介入により機能改善を認めた一例

4-7 生活期(維持期)リハ③/設備・施設② 2月27日(火) 11:00 ~ 11:54

座長：南部浩志(定山溪病院 作業療法科 科長補佐/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-7-1	北海道	聖ヶ丘病院	谷口周也	作業療法士	動作分析シートの作成・利用による治療効果
4-7-2	徳島県	江藤病院	島田萌花	理学療法士	車椅子座位におけるクッションの有用性の検討～安定した座位保持を目指して～
4-7-3	大阪府	弥刀中央病院	志水俊介	作業療法士	夜間頻尿に対してアプローチした症例
4-7-4	静岡県	山の上病院	藤江永	理学療法士	療養病棟長期入院患者におけるリハビリテーションの満足度の実態
4-7-5	山梨県	恵信甲府病院	藤原裕己	言語聴覚士	構音障害者の発話の聞き取りにおける正確性の検証および聴取方法の検討
4-7-6	東京都	信愛病院	幸村優美	作業療法士	高齢者における最適な机の高さの検証

第4会場（3階・311+312）PC発表

4-8 生活期(維持期)リハ④ 2月27日(火) 13:10～14:04

座長：杉尾勝也(西宮回生病院 リハビリテーション部 主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-8-1	大阪府	岸和田平成病院	池田愛里	理学療法士	車椅子下肢駆動による運動強度の検討
4-8-2	富山県	光ヶ丘病院	古瀬麻由美	作業療法士	鼻カニューレと酸素マスク(空マスク)併用での酸素吸入でADLに効果を得た一症例
4-8-3	東京都	緑成会整育園	宮尾朱音	言語聴覚士	スイッチを用いて自己表出の増加を目指した症例
4-8-4	神奈川県	新戸塚病院	松本麻美子	作業療法士	療養病棟におけるプール活動レベルを用いた集団療法申し送り ～「寝たきりだから」と言わせない～
4-8-5	東京都	介護サービススマイル永生	三宅英司	理学療法士	通所リハビリテーションにおける利用開始から3ヶ月間の効果について
4-8-6	山梨県	恵信甲府病院	坂本楓	言語聴覚士	刺激量の違いによる唾液分泌量の比較

4-9 生活期(維持期)リハ⑤ 2月27日(火) 14:05～14:59

座長：沼田一成(奈良東病院 リハビリテーション科 科長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
4-9-1	神奈川県	介護老人福祉施設 ヴィラ神奈川	吉田文裕	理学療法士	整容リハビリを実施し活動への参加意欲向上を目指した事例
4-9-2	千葉県	印西総合病院	末吉裕史	理学療法士	慢性期脳卒中患者に対する後脛骨筋へのボツリヌス療法と、機能的電気刺激を用い機能改善を認めた一症例
4-9-3	大阪府	弥刀中央病院	坂上明規	理学療法士	車椅子離床時の頸部ポジショニングについての検討
4-9-4	静岡県	山の上病院	杉山勇樹	理学療法士	算定期限を迎え制限された介入で変化が見られた症例
4-9-5	大阪府	豊中平成病院	富永拓登	理学療法士	慢性便秘症の全介助レベルの胃瘻造設後患者に対する用手微振動の効果
4-9-6	埼玉県	富家病院	利根川賢	理学療法士	療養病棟入院患者に対するベルト電極式骨格筋刺激法の効果の検討

第5会場(3階・313+314) PC発表

5-5 在宅・介護保険・地域包括ケア① 2月27日(火) 9:00～9:54

座長：松木亨(世田谷記念病院 リハビリテーション科 主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-5-1	徳島県	江藤病院	吉田美沙希	理学療法士	集団リハビリ開始による離床時間の拡大が身体に及ぼす影響について
5-5-2	山口県	山口平成病院	神田勇樹	理学療法士	入退院動向から見る地域における当院リハビリテーション科の役割の展望
5-5-3	鹿児島県	国分中央病院	三上雅史	理学療法士	活動参加の取り組みによるADL評価への影響
5-5-4	兵庫県	協立温泉病院	北村愛	理学療法士	意欲・発動性向上により社会参加に繋げることができた症例
5-5-5	愛媛県	松山リハビリテーション病院	中見聡志	理学療法士	地域包括ケア病棟入院中の患者様において、改めて集中的にリハビリ介入を行う重要性を感じた一症例
5-5-6	東京都	介護老人福祉施設 ケアホーム足立	秋谷晴美	作業療法士	施設職員がレクリエーションに関わるきっかけ作り～イベントカレンダーとレンタル・展示コーナーの効果～

第5会場(3階・313+314) PC発表

5-6 在宅・介護保険・地域包括ケア② 2月27日(火) 9:55 ~ 10:49

座長：吉村訓志(丸山病院 介護老人保健施設弥生園 リハビリテーション部長/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-6-1	北海道	洞爺温泉病院	萩原智	理学療法士	デイケア利用時に無動力歩行支援機を装着することで非装着時の歩行に変化がみられた一例
5-6-2	徳島県	博愛記念病院	本岡秀人	理学療法士	当院通所リハビリテーションにおける自助の実現に向けた取り組み ～触れないリハビリの挑戦～
5-6-3	東京都	多摩川病院	櫻井真咲	理学療法士	地域包括ケア病棟における自宅退院の為の要因の検討 ～第2報. 在宅介護スコアを用いた検討～
5-6-4	愛媛県	松山リハビリテーション病院	富岡真光	理学療法士	当院地域包括ケア病棟の常駐理学療法士による病棟マネージメントとチームアプローチ
5-6-5	鹿児島県	国分中央病院	花見将一郎	言語聴覚士	関連施設へのミールラウンドの取り組み ～栄養状態が改善した1症例～
5-6-6	東京都	世田谷記念病院	澤木彩	看護師	退院後訪問から見えてきた在宅支援看護師の在り方

5-7 在宅・介護保険・地域包括ケア③ 2月27日(火) 11:00 ~ 11:54

座長：原口友子(加治木温泉病院 総合リハビリテーションセンター 技士長/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-7-1	大阪府	堺温心会病院	阿部美喜恵	看護師	療養病棟から、在宅復帰をめざした退院調整の取り組みについて
5-7-2	兵庫県	東浦平成病院	畑嘉寿来	理学療法士	要介護認定者における「いきいき百歳体操」の効果
5-7-3	大阪府	ベルピアノ病院	小林玲子	理学療法士	当院の地域包括ケア病棟におけるリハビリ強化入院
5-7-4	埼玉県	富家病院	石川徳隆	理学療法士	自宅退院時における傾斜機能付きベッド提案群と非提案群での比較
5-7-5	東京都	多摩川病院	小林昂将	理学療法士	地域包括ケア病棟入院患者の早期自宅退院の要因の検討 ～2年間の観察研究～
5-7-6	静岡県	伊豆平和病院	廣瀬拓也	理学療法士	在宅復帰を推し進めるためのリハビリ運用システム

5-8 在宅・介護保険・地域包括ケア④ 2月27日(火) 13:10 ~ 14:04

座長：大村智也(鳴門山上病院 リハビリテーション部門 言語療法科 主任/言語聴覚士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-8-1	兵庫県	介護老人保健施設 ふるさとの家	岡山友理恵	言語聴覚士	通所サービス向上の為の取り組み
5-8-2	東京都	世田谷記念病院	松木亨	理学療法士	地域包括ケア病棟における膀胱直腸障害リハビリテーションの有用性についての検討 -疾患別分類からの考察-
5-8-3	長野県	上條記念病院	丸山拓弥	理学療法士	介助量の変化と介護度の関係性 ～重度くも膜下出血発症から3年～
5-8-4	愛知県	小林記念病院	竹尾悠介	理学療法士	当事業所における短時間通所リハビリテーションの介護予防効果 —利用開始時と1年後を比較して—
5-8-5	兵庫県	西宮回生病院	池上淳	理学療法士	通所リハビリテーション利用者の転倒歴とその要因
5-8-6	岐阜県	山田病院	立岩慧士	作業療法士	院内デイケアの役割 -閉じこもり傾向の事例を通して-

第5会場(3階・313+314) PC発表

5-9 在宅・介護保険・地域包括ケア⑤ 2月27日(火) 14:05 ~ 14:59

座長：土田遼太(上條記念病院 リハビリテーション科 主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
5-9-1	東京都	特別養護老人ホーム 藤香苑	二見邦彦	作業療法士	特養における経管栄養の際の姿勢改善への取り組み
5-9-2	東京都	大久野病院	渡邊悠馬	作業療法士	短時間型通所リハビリテーションの担う役割についての一考察
5-9-3	東京都	緑成会病院	松本徹也	理学療法士	地域リハビリテーション活動支援事業への取り組み
5-9-4	東京都	世田谷記念病院	大澤龍矢	理学療法士	地域包括ケア病棟におけるADL表の運用方法の検討
5-9-5	東京都	介護サービス スマイル永生	野長瀬高志	理学療法士	リハマネ加算Ⅱ算定者における、算定開始時期による 目標達成状況の差及び目標達成後の転機について
5-9-6	埼玉県	霞ヶ関中央クリニック デイリビング	深井勉	作業療法士	中重度者の介護負担感軽減に向けた 通所リハビリテーションの役割

第6会場(3階・315) PC発表

6-5 義肢・装具・ロボテック機器① 2月27日(火) 9:00 ~ 9:54

座長：長谷川奨斗(世田谷記念病院 リハビリテーション科 主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-5-1	兵庫県	東浦平成病院	宮川汀帆	理学療法士	HAL®とHonda歩行アシストの併用により歩行を再獲得した 頸髄損傷の一症例
6-5-2	大阪府	岸和田平成病院	細濱恵造	理学療法士	HONDA歩行アシストを用いた最適な歩行訓練時間の検討
6-5-3	長野県	鹿教湯三才山リハビリテーション センター三才山病院	小林克行	作業療法士	HAL単関節タイプとHAL-SJ上肢吊り下げキットを併用した リハビリテーションの紹介
6-5-4	徳島県	博愛記念病院	木下大蔵	理学療法士	悪性症候群後に重度の筋萎縮を呈し、HAL®の使用を試みた 一症例 ~歩行再獲得に向けたアプローチ~
6-5-5	徳島県	介護老人保健施設 平成アメニティ	湯浅雅史	理学療法士	リハビリストとHAL®介護支援用(腰タイプ)装着者の 立位動作介助時の体幹-軸足角度の比較
6-5-6	福岡県	原病院	廣田明大	理学療法士	HONDA歩行アシストを用いた脳卒中片麻痺患者の 歩行能力の変化 ~慢性期リハビリテーションの必要性~

6-6 義肢・装具・ロボテック機器② 2月27日(火) 9:55 ~ 10:49

座長：谷村公朗(光風園病院 リハビリテーション部 主任/作業療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-6-1	兵庫県	東浦平成病院	勇村香那子	理学療法士	Honda歩行アシストによる体幹筋への促通効果の検証
6-6-2	大阪府	泉佐野優人会病院	折見俊平	理学療法士	片麻痺を呈した通所リハビリテーション利用者の 1症例に対する、Honda歩行アシストの効果検証
6-6-3	大阪府	岸和田平成病院	石橋湧己	作業療法士	感覚脱失を伴う重度片麻痺患者の上肢機能に対する IVES使用の試み
6-6-4	三重県	花の丘病院	奥勇太	理学療法士	下肢装具調節に関する卒後教育の必要性の検討
6-6-5	兵庫県	西宮回生病院	井手田将司	理学療法士	HONDA製歩行アシストの即時的効果の検証
6-6-6	東京都	花はた リハビリテーション病院	富田藍	理学療法士	通所リハビリテーション利用者に対する装具外来の活用 —短下肢装具を作成しT-cane歩行が自立となった症例—

第6会場(3階・315) PC発表

6-7 骨関節疾患・切断 2月27日(火) 11:00～11:54

座長：長瀬正徳(陵北病院 リハビリテーション科/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-7-1	東京都	永生病院	鈴木涼子	理学療法士	上腕骨近位部粉碎骨折術後に関節可動域制限が生じた一症例 ～肩甲上腕リズムに着目した評価と治療～
6-7-2	兵庫県	西宮回生病院	飯沼陽光	理学療法士	膝関節疾患術後患者におけるバランス機能と機能因子の関連性について
6-7-3	徳島県	徳島平成病院	中島芳成子	理学療法士	左寛骨臼回転骨切り術後に足部機能障害を呈し慢性的跛行を認め転倒を繰り返した一症例 – 躓きリスクに着目–
6-7-4	兵庫県	西宮回生病院	島本大輔	理学療法士	強固なアキレス腱縫合術後早期に独歩を獲得した一症例
6-7-5	福岡県	原病院	山崎博喜	言語聴覚士	背臥位における頭部並進運動が上位胸椎動態に及ぼす影響第2報 ～胸背部痛の有無による骨動態の相違～
6-7-6	兵庫県	西宮回生病院	吉田悠里子	作業療法士	慢性肩関節周囲炎に対する筋電誘発型電気刺激装置でのアプローチを実施した一症例

6-8 認知症・精神③ 2月27日(火) 13:10～14:04

座長：福井亜紀(芳珠記念病院 認知症看護認定看護師/看護師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-8-1	群馬県	内田病院	木村あゆみ	理学療法士	認知症患者に対する脳活性化リハビリに基づくケアの効果～行動心理症状を伴ったアルツハイマー型認知症の1例～
6-8-2	神奈川県	鶴巻温泉病院	山口拓也	作業療法士	記憶障害に配慮した関わりをチームで統一することで、周辺症状が改善した認知症患者に関する報告
6-8-3	茨城県	宮本病院	真崎愛梨紗	作業療法士	統合失調症患者の精神的安定と現実検討力向上を目指して
6-8-4	神奈川県	介護老人保健施設 ケアホーム横浜	仲村将一	作業療法士	アレンジ版コグニサイズは認知症予防に効果はあるか
6-8-5	東京都	鶴川サナトリウム病院	鈴木詠美子	理学療法士	相手の状況を理解し寄り添う介入が被害妄想を改善し、笑顔と活動量の増加に有効であった症例
6-8-6	東京都	立川中央病院	堀田晶子	作業療法士	睡眠障害の患者に対するアプローチと効果

6-9 予防リハ 2月27日(火) 14:05～14:59

座長：山本春彦(上條記念病院 リハビリテーション科長/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
6-9-1	大阪府	泉佐野優人会病院	西村卓也	理学療法士	小規模多機能型居宅介護における転倒予防体操参加による身体機能向上の効果検証
6-9-2	兵庫県	東浦平成病院	福谷瞬	理学療法士	要支援者の尿失禁と運動機能の関係
6-9-3	岡山県	しげい病院	高木若葉	理学療法士	当院通所リハビリテーションにおけるHome Exerciseの定着に向けての取り組み
6-9-4	東京都	南多摩病院	香川紗希	理学療法士	地域在住高齢者における尿失禁と姿勢・バランス機能の関係性
6-9-5	大阪府	浜寺中央病院	山下達也	理学療法士	スマホ使用者の高齢化～セラピストが考える「歩きスマホ」による事故の危険性～
6-9-6	沖縄県	西崎病院	安慶名勝太	作業療法士	着座動作と重心動揺に関する研究

第7会場(4階・411+412) PC発表

7-5 リハ療法師 2月27日(火) 9:00 ~ 9:54

座長：横山真人(善常会リハビリテーション病院 リハビリテーション部 副主任/理学療法士)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-5-1	兵庫県	神戸平成病院	中條浩介	理学療法士	高台上で壁面へ指先を接触させた場合の立位重心動揺に対する影響
7-5-2	神奈川県	平成横浜病院	鈴木真理	理学療法士	当院療法士における高ストレス者の検討 ～職業性ストレスチェックと東大式エゴグラムを用いて～
7-5-3	北海道	札幌西円山病院	関谷美晴	理学療法士	当院リハビリテーションにおける 出産復帰後の腰痛調査について
7-5-4	兵庫県	平成リハビリテーション 専門学校	岩本怜士	言語聴覚士	安静時呼吸数計測方法の検証
7-5-5	徳島県	博愛記念病院	今富裕之	理学療法士	卒後教育への取り組み ～新人教育カリキュラムの作成と運用～
7-5-6	兵庫県	平成病院	山田健太	言語聴覚士	当院回復期リハビリテーション病棟における AMFDの有用性の検討

7-6 リハ看護・リハ介護① 2月27日(火) 9:55 ~ 10:49

座長：長谷川民枝(小林記念病院 回復期リハビリ病棟看護科 科長/看護師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-6-1	東京都	平成扇病院	箕牧ゆかり	看護師	回復期リハビリテーション病棟入院患者に対する 転倒・転落防止への取り組み
7-6-2	山口県	山口平成病院	手嶋由希恵	理学療法士	当院における離床時間とADLとの相関について ～離床における効果的な関わり方の検討～
7-6-3	神奈川県	ヴィラ泉	長澤久美子	理学療法士	入浴場面で意欲的・積極的に残存機能を活かすケアを考える ～生活の中で立位時間を延長していく～
7-6-4	東京都	世田谷記念病院	古木慎一	介護福祉士	在宅復帰に向けたオムツ選定 ～回復期プライマリーCWの役割～
7-6-5	群馬県	真木病院	市川美千代	看護師	地域包括病床での集団リハビリがもたらす効果
7-6-6	大阪府	千里リハビリテーション病院	緩詰哲也	介護福祉士	オムツ・排泄の勉強会を通じた排泄ケア経験のない スタッフのスキルアップへの取り組み

7-7 摂食嚥下・栄養・口腔ケア③ 2月27日(火) 11:00 ~ 11:54

座長：西出直人(芳珠記念病院 副院長/歯科医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-7-1	埼玉県	埼玉回生病院	高橋恭子	言語聴覚士	慢性期患者の経口摂取を予測する因子の検討 -107例の嚥下機能評価を3ヶ月間追跡した結果から-
7-7-2	大阪府	泉佐野優人会病院	和泉悠也	理学療法士	離床した状態での食事摂取の重要性について ～食事摂取量や栄養状態に着目して～
7-7-3	大阪府	浜寺中央病院	土井彩友美	言語聴覚士	摂食嚥下障害に関する意識調査 ～誤嚥性肺炎を予防する為に～
7-7-4	東京都	永生病院	菊地一希	看護師	非経口摂取患者に対する口腔ケア —10%ハチミツレモン水の口腔内環境にもたらす効果—
7-7-5	東京都	平成扇病院	小河原雄大	言語聴覚士	STと他職種間での口腔ケア及び食事介助における連携
7-7-6	大阪府	豊中平成病院	藤澤明信	言語聴覚士	頸部干渉波電気刺激が嚥下機能に及ぼす効果の検証

第7会場(4階・411+412) PC発表

7-8 摂食嚥下・栄養・口腔ケア④ 2月27日(火) 13:10 ~ 14:04

座長：藤田聡志(鶴巻温泉病院 診療副部長/医師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-8-1	大阪府	堺温心会病院	島谷浩幸	歯科医師	長期入院患者の誤飲リスクを伴う 重度動揺歯に対する歯科対応
7-8-2	兵庫県	東浦平成病院	阿部奈々絵	言語聴覚士	介護老人保健施設入所者の嚥下障害に関連する要因
7-8-3	大阪府	特別養護老人ホーム 淀川暖気の苑	青木雄大	理学療法士	特別養護老人ホーム入所者の入院原因調査
7-8-4	東京都	信愛病院	下岡綾乃	言語聴覚士	当院回復期病棟にて入院時経管栄養を行っていた患者が 経鼻管抜去に要した期間と初期評価の所見
7-8-5	東京都	平成扇病院	中村雅人	作業療法士	アルコール依存症により二次性サルコペニアを呈し、 包括的な介入をした1症例の経過
7-8-6	東京都	緑成会病院	池田友記	言語聴覚士	不顕性誤嚥を有する慢性期の嚥下障害患者に対する 黒胡椒嗅覚刺激の効用について

7-9 リハ看護・リハ介護② 2月27日(火) 14:05 ~ 14:50

座長：洲崎英子(善常会リハビリテーション病院 看護部長/看護師)

演題番号	都道府県	所属	氏名	職種	演題タイトル
7-9-1	千葉県	印西総合病院	岡野伸一朗	看護師	記憶力低下のある高齢者へのナースコール指導の検討
7-9-2	兵庫県	神戸平成病院	田坂圭太	看護師	新設された回復期リハビリテーション病棟における 看護師対象のFIM研修の効果
7-9-3	大阪府	千里リハビリテーション病院	鈴木愛	看護師	回復期リハビリテーション病棟における 効果的な脳卒中再発予防指導への取り組み
7-9-4	東京都	永生病院	何梦瑶	介護職	家族指導に向けてのパンフレット作成 —回復期の患者に介護士ができる退院支援—
7-9-5	香川県	橋本病院	岸井貴洋	介護福祉士	移乗介助申し送りシートの運用について —移乗介助時の職種別着眼点に着目して—